

オーディオ実験室収載

DMR-UBZ1 の導入(9) —共有サーバー収納音源の再生(2)—

1. はじめに

前報(8)で、なんとか DMR-UBZ1 を共有サーバーとして使用する目途がたち、種々のフォーマットの音源を収納することができましたので、今回は、DMR-UBZ1 の音楽再生機能で再生してみます。

2. DMR-UBZ1 の試聴方法

前報(8)において PC から DMR-UBZ1 の「USER_area」に、PC 経由で fidata に収納したいいろいろなフォーマットの音楽ファイルをコピーしていますので、DMR-UBZ1 の音楽再生機能により「USER_area」に収納したいいろいろなフォーマットの音楽ファイルを DMR-UBZ1 の同軸 S/PDIF 出力で送り出し、Sonica DAC で再生しました。

3. DMR-UBZ1 の試聴結果

PCM 音源は 44.1KHz16bit 音源から 192KHz24bit 音源まで再生できました。DSD 音源は 11.2MHzDSD 音源は再生できませんでしたが、2.8MHzDSD 音源と 5.6MHzDSD 音源は再生できました。

なお、再生設定でリマスター標準、音質効果周波数を 192/176.4KHz に、DSD/PCM 変換周波数を 176.4KHz に、DSD LPF 設定を 5 (広帯域) に設定している場合、Sonica DAC の表示は次のようになります。

44.1KHz16bit 音源→88.2PCM

192KHz24bit 音源→96PCM

2.8MHzDSD 音源→88.2PCM

5.6MHzDSD 音源→88.2PCM

したがって、どのような処理をして、結果がどうなるか、よく分かりません。

音質的には fidata からの再生に及びませんし、DSD 音源は PCM に変換されて再生されます。

4. まとめ

DMR-UBZ1 の音楽再生機能で、ファイル共有サーバー内に収納した音源を再生することができました。すなわち、音質的には期待できませんが、DMR-UBZ1 を簡

便な HDD プレイヤーのように使うことができます。Sonica DAC のサンプリング周波数の表示の問題は相談窓口に問い合わせており、引き続き検討します。

以上